

(様式1-表)

令和7年度 特色ある学校づくり推進事業 計画書

学校番号	107	豊田市立 保見中 学校	代表	佐藤 正一
------	-----	-------------	----	-------

※分野【a：国際交流・国際理解、b：地域連携、c：自然体験、d：環境教育、e：学力向上、f：交流体験、g：福祉・ボランティア、h：伝統文化、i：その他（ ）】から選ぶ。

テーマ	魅力あふれる「多文化共生の街 保見」に貢献できる生徒の育成	分野	i	その他
	サブテーマ　～ 「ちがいを」を認め合える生徒、共に感動する生徒、未来を語る生徒　～	（その他）は分野を右欄に記入	校内インフラ整備	
学校づくりの視点（ねらい）	①本校が進めてきた二言語読書プログラムを継続し、生徒の読書力レベルの向上を目指す。 ②少人数指導やチーム・ティーチングに加え、学生ボランティアによる学習支援を行い個別指導を強化し、学力の向上を図る。 ③夢をもって日々の生活を送ることの大切さを感じさせることで自分の将来への展望をもたせ、その実現のために地道に努力することができる生徒を育成するためのキャリア教育を行う。 ④校内の環境を美しく整え、生徒たちが学校生活を送ることができるような環境づくりを目指す。 ⑤生演奏による本物の音楽のよさを体感したりしながら、思い出に残る卒業式になるように目指す。 ⑥文化的行事の一環として、学級や学年で作り上げたボディーパーカッションを発表し合い、音楽を愛好する心情や音楽に対する豊かな感性を育てる。			
活動内容・計画	①国際図書館や図書館に生徒にとって有用な書籍を充実させる。 ②年間を通して大学生のボランティアによる学習支援を行う。 ③スポーツや文科系、様々な分野で夢や目標に向かって努力を続けてきた方の話を聞く講演会や地域の講師をお招きする会を開催する。 ④生徒が落ち着いて学校生活を送ることができるために校内の環境整備を行う。 ⑤保見ヶ丘アンサンブルに演奏を依頼して生徒に本物の音楽のよさを体感させることで、卒業式の雰囲気をもより高尚なものとする。 ⑥豊田市民文化会館にて文化的行事（ボディーパーカッション大会、特別支援学級による発表）を行う。			
補助員配置	①校内整備員			
実績・期待される効果	①国際図書館の書籍を増やすことで、継続してきた二言語読書プログラムがさらに充実し、外国につながる生徒の読書力が向上する。 ②学生ボランティアによる学習支援によって、外国人生徒を中心によりきめ細やかな指導が期待でき、学力向上につなげることができる。また、専門的な技能などに触れる機会ができる。 ③講師を招聘して講演会を開催し、努力を続けて夢を実現した方の話を聞く機会を設けることで、生徒が自分の将来や人生に展望をもつことができる。また、今後の生活を豊かで充実したものにしようとする気持ちが高まる。 ④環境を整えたり、生徒が落ち着いて学校生活を送ることができる。 ⑤保見ヶ丘アンサンブルの演奏によって感動的な卒業式を作ることで、伝統として引き継いでいくことができる。 ⑥豊田市民文化会館にて文化的行事（ボディーパーカッション大会）を行うことで、音楽を愛好する心情や音楽に対する豊かな感性を育てる。また、特別支援学級の生徒による音楽の授業で練習したの演奏を発表する機会とする。			
検証方法	①二言語読書プログラムの授業でのあらすじ再生や感想、朝読書の感想より ②授業の様子やテストの結果、定期的実施する生徒の自己評価より ③講演会後の生徒の感想より ④普段の生徒の様子より ⑤卒業式における生徒や保護者の様子より ⑥文化的行事における生徒や保護者の様子より			